

建設産業担い手確保育成センターによる建設人材の確保・育成の推進について

令和元年12月2日
建設政策課

〈センター設置によるこれまでの成果〉

産学官連携による取組と積極的な情報発信により、建設産業の存在感が増大

【若者確保】 ① 若い世代の建設産業に対する理解が進み、県内建設産業就職者数が増加
② 県内建設企業の意識に変化が現れ、積極的な採用姿勢に転換

【女性活躍】 ③ 女性入職者の増加や女性部会の設立により、業界全体で女性活躍に取り組む意識が定着

【ICT活用】 ④ 全国随一の研修拠点が整備され、民間主導による人材育成の仕組みを構築



〈課題〉

- 入社後3年以内**離職率**が高い
- 新規就職者の**県外流出**が続いている
- **女性部会**の設置が県内全地域に至っていない
- 女性就業者の業種の枠を越えた**交流機会**が少ない
- **i-Academy恋地**の**認知度**が十分でない

| 柱となる取組 | 主な取組と効果 | 実績（見込） | 今後の方向性 |
|---------------|---|--|---|
| 若者確保 | 「建設企業出前説明会」の実施 センターによる出前説明会の開催が、地域振興局及び高校独自の開催や、普通高校のキャリアが'タ'ンス開催に波及 | 開催回数 29年度：1校（1回） 30年度：9校（10回） R1年度：11校（13回）予定 ※R1は地域振興局開催3回含む | 若手の離職防止（定着促進） ○ 企業の枠を越えた「仲間づくり」を通じて離職を防止 ○ 資格取得の支援を通じて、責任感や処遇の向上を促進 ○ 週休二日制モデル工事の実施 |
| | 「建設ふれあいフェア」の開催 子どもたちを対象とする魅力発信を通じて、建設産業に関心を持つ世代が拡大 | 五城目町（雀館・恋地）で開催 H30.11.3（土・祝） 来場者数600名 R1.8.21（水） 来場者数420名 | |
| 女性活躍 | 「女性部会」の設立と自主的な活動 女性の入職者が増加 働きやすい職場づくりに取り組む企業が拡大 | 女性部会設立状況 29年度：平鹿 30年度：雄勝、仙北、北秋田、能代山本 R1年度：秋田中央建設業協会女性部会 計 6地域で設立 | 女性活躍ネットワークの拡大 ○ 女性活躍の自主的な取組を県内全域に拡大 ○ 業種の枠を越えた交流機会の拡大 |
| | 「あきた建設女性ネットワーク」の設立 全県規模のネットワーク組織が各部会の交流を促進 | | |
| ICT活用 | 「i-Academy恋地」（五城目町）の活用促進 産学官連携により全国随一の建設ICT研修拠点を整備 | i-Academy恋地での研修実績 モデル研修：2回（H30） 公募研修：6回（H30、R1） 女性限定研修：1回（H30） ※124名のICT人材を育成 （うち女性17名、県外32名） | 建設ICT活用の加速化 ○ 県内外への情報発信による認知度向上 ○ 研修メニューの開発・改善による対象者の拡大 ○ ICT活用モデル工事の実施 |
| | 「ICT拠点」の整備・拡大 県北地域（東光鉄工）や県南地域（平鹿自動車学校）のICT拠点化を推進 | | |
| 基本的な取組 | 「担い手確保育成推進員」による高校・企業訪問 各企業等による積極的な人材確保の姿勢に影響 | 高校訪問回数 29年度：71回 30年度：176回 R1年度：110回（10月末） 計：357回 | 更なるマッチングの強化 ○ 推進員による高校生等と企業のマッチングを強化し、新規入職者を確保 |